

編集後記

郡山市立美術館での巡回展「イメージの力」の展示作業立ち会いのため、福島に飛んだ。飛行場では、ウルトラ・ファミリーが待っていた！ウルトラマンの生みの親、円谷英二が空港に近い福島県須賀川市出身ということで、福島空港はウルトラ・テーマパークと化している。立像やら撮影用のプロップや模型やらが空港のあちこちに展示しており、ハンドルを回して発電するとウルトラマンが「シュワッヂ」とバルタン星人にスペシウム光線を浴びせるという参加型の仕掛けまである。初代ウルトラマンが宇宙の果てから地球にやってきた年に生まれた人間としては、この掛け声を聞くと、出張で来たことも一瞬忘れて、心ときめいてしまうのである。「シュワッヂ」でスイッチが入り、子どものころのワクワク感が一気に蘇る。ノスタルジアは、大人がテーマパークで味わう高揚感の根源にある重要な心的要素のひとつなのかもしれない。

だがウルトラマンタロウ以降の「兄弟」は、もう誰が誰だかわからなくなるので、空港の正面に立つ高さ4メートルの巨像が「ウルトラマンマックス」であることは、後でネットで調べないとわからなかつた。

(山中由里子)

●表紙：玩具（観覧車）標本番号 H0156065 ほか 地域：メキシコ 民族：メスティン

次号の予告

特集

韓日食博

みんぱくをもっと楽しみたい 人のために—会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、『月刊みんぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通じて多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます（特別展示は観覧料割引）。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいです。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。

（電話06-6877-8893／平日9:00～17:00）

月刊みんぱく 2015年8月号

第39巻第8号通巻第455号 2015年8月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1

電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信

編集委員 山中由里子（編集長） 河合洋尚 菅瀬晶子

丹羽典生 丸川雄三 南真木人 吉岡乾

デザイン 宮谷一樹 長岡綾子

制作・協力 一般財団法人 千里文化財団

印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>

